

荃崎をさらに前へ!!



1 「給食レストラン」を荃崎の新たな拠点に

これまで学校給食のあり方について考える会議や市議会でも、自校給食を求める声が多くありました。

同時に、地域のみなさんが集まれる場所を作ることも大きなテーマです。そこで、**荃崎第二小学校の隣(岩崎保育園跡地)に「給食レストラン」を建てる**計画を進めています。ここでは、給食の時間になると児童たちが小学校から移動してきます。そして、地域のみなさんもこどもたちと同じメニューの給食を一緒に食べることができます。高齢者世帯やおひとりで暮らしている方にも楽しいお昼の時間を作れます。なお、老朽化して故障が頻発している荃崎給食センターは一旦閉所としますが、給食レストランがスタートした後に、地域にとってどのような施設が必要かを検討していきます。



応援メッセージ

高荒 節子さん(梅ヶ丘)

給食レストランの完成をとても楽しみにしています。荃崎地域では高齢者が増えてきていて、外に出る機会も減ってしまっています。給食レストランができれば、**この地域で安心して住み続けたい**と思える大きな居場所の一つになると思います。



(※イメージ)

2

荃崎児童センターを土日開館し中高生も広く活用 荃崎幼稚園での3歳児の受入も

小中高生の土日の勉強場所や居場所として、**荃崎児童センターの土日開館を開始**しました。こどもたちが遊んだり、中高生が勉強などに使っています。また、荃崎幼稚園ではリクエストの多かった**3歳児からの受入**を始め、公立幼稚園の中でも定員の充足率がとても高くなっています。



応援メッセージ

市原 博美さん(泊崎)

五十嵐市長の丁寧な取組みは**荃崎をどんどん子育てしやすい地区**にしてくれています。最近始まった牛久沼のアウトドアの取組など、若い世代に向けた取組も、とても楽しみです。



土日開館を始めた荃崎児童センター



お風呂をリニューアル予定の老人福祉センター

3

(荃崎保健センター) コミュニティ施設に (老人福祉センター) お風呂全面リニューアルも

老朽化していたので解体する予定だった保健センターを、地域のみなさんのお声を聞き、**コミュニティ施設としてリニューアル**します。

また、これまで老人福祉センターのお風呂は、狭く、男女入れ替え制で時間も限られていました。お風呂は地域のみなさんの居場所としてとても重要なものなので、この度**全面リニューアルを進めています**。男女別々にし、広くし、時間も延長します。隣には地域包括支援センターや福祉支援センターもあるので、困った時の相談にも早めにつなげてもらう拠点にしていきます。

ポスター設置・チラシポスティング ボランティア募集!

いがらし立青のポスターをご自宅やお持ちの土地などに貼ってくださる方を募集しています。
「貼ってもいいよ」という方はぜひ事務所へご一報ください! (スタッフが貼りに伺います。)

ひとりでも多くの方にいがらし立青の思いを伝えるために、チラシをポスティングしてくださる方も募集しています。10枚でも20枚でも大歓迎です。ぜひ事務所へご連絡ください!

- G1の「新世代リーダー・アワード」にて、その年最も活躍した若手政治家に贈られる政治部門受賞(19年度)
- **人口増加率日本一(23年)**
- **人口増加数一般市で2年連続日本一(22、23年)**
- 公約のロードマップと実現力が評価され**マニフェスト大賞優秀賞を2回受賞**(1期目は82項目で進捗率90.4%、2期目は135項目に増やし現在86.1%)
- 世界で約70人のみの市長や知事が選ばれる**OECD(経済協力開発機構)チャンピオンメイヤー選出**
- 3男1女の父として、**ベストファーザー賞(政治部門)受賞**、料理も家事も全力です



ベストファーザー賞(政治部門)受賞
落語家の桂宮治さんたちと一緒に



多くの国際会議に招待され登壇、議論をリード

いがらし立青のたつおプロフィール

- 1978年 つくば市(桜村)生まれ
- 1997年 並木小学校、並木中学校、土浦第一高等学校卒業
- 2002年 筑波大学国際総合学類卒業
- 2003年 ロンドン大学 UCL 公共政策研究所修士課程修了 研究助手兼務
- 2004年 つくば市議(1期目)
- 2007年 筑波大学大学院 人文社会科学研究科修了 博士(国際政治経済学)
- 2008年 いがらしコーチングオフィス設立
つくば市議(2期目)
- 2010年 NPO法人つくばアグリチャレンジ設立
障害のあるスタッフが働く農場
「ごきげんファーム」を経営(2016年代表退任)
- 2016年 つくば市長(1期目)
- 2020年 つくば市長(2期目)

いがらし立青の活動はSNSでも発信中!



Facebook
@tatsuo21



Instagram
@igarashitatsuo



X (旧Twitter)
@igarashitatsuo



公式LINE
@dco1718t



Respect Our Neighbors

青風会

[発行元] いがらし立青後援会 青風会

〒305-0854 茨城県つくば市上横場2255

(元アッセ敷地内バーガーキング跡)

TEL: 029-896-9811 / FAX: 029-896-9812

E-mail info@igarashitatsuo.com

討議資料

茎崎地区が 大きく変化しています

どんどん



46歳

たつお

つくば市長

いがらし立青

市長就任以来、茎崎地区の皆様からのお声を数多く伺い、取組を進めてきました。

応援メッセージ

小原 正彦さん(高見原)

これまで茎崎地区には「取り残されてきた」という思いが少なからずありました。でも、五十嵐市長が就任してからは、**茎崎にしっかり目を向けてくれ**、バスの改編による牛久駅乗り入れや、地区相談センターの設置で地域住民の声に細やかに応えてくれるなど、具体的な成果を多く出してくれました。さらに、新たに「**給食レストラン**」といった地域にとって、とても楽しい事業も計画してくれています。この調子で茎崎と一緒にどんどん盛り上げていってほしいと思います。

1

つくバスの牛久駅乗り入れ つくタクのAI導入で予約枠増

茎崎地区の生活圏としてのご希望の声が多かった**つくバスの牛久駅の乗り入れを実現**しました。みなさんの声にできるだけお応えする形でバス停設置をしています。さらに茎崎地区でつくタクをAI(人工知能)で配車する実証を行いました。**来年度からは全地区でAIの配車**することで、つくタクの予約枠を増やし、皆様に利用しやすい環境を用意します。



牛久駅への乗り入れが実現したつくバス

2

地区相談センター創設で 地域のご相談を解決

地区のご相談を地区内で伺い、たらいまわしにしないで対応するセンターを作りました。現在はすべての交流センターに設置して、**数多くのご要望に対して迅速に対応**しています。



身近な相談窓口の設置

応援メッセージ

稲川 誠一さん(あしび野)

今まで市役所の対応は本庁舎まで行かなくてはならず大変でしたし、時間も掛かりました。五十嵐市長が実現した地区相談センターのおかげで**茎崎地区内での要望等を対応してもらえる**ので、区長をやっていた時は大変助かりました。職員のみなさんとても丁寧に対応してくれて感謝しています。

その他にも数多くの取組を進めています

- 周辺市街地活性化の取り組みで高見原の協議会を全力支援
- 憩いの家跡地を庭園として再整備(トイレも改修)

牛久沼でのカヌー体験の様子▶



3

迅速な災害対応 農業被害への補助新設

令和5年6月の大雨では、茎崎地区の多くの農地が浸水したり、団地内でも越水や逆流による浸水が起きました。いがらし立青は現地での迅速な対応による日常生活の再開や、組合のみなさまとの協議の上で前例のない形での農業被害への**新たな補助制度を創設**しました。



すぐに災害の現場へ行き陣頭指揮

応援メッセージ

鯉河 仁志さん(下岩崎)

田んぼが完全に水に浸かってしまい心配でした。市長が現地に来て、組合の役員たちとやり取りを重ね、さらに周辺の市長とも連携を進めて補助制度を作ってくれたおかげで**不安なく収穫期を過ごせました**。本当に感謝しています。

応援メッセージ

倉本 茂樹さん(森の里)

豪雨での森の里の浸水の際に、**現地に来て陣頭指揮を取る**姿は頼もしかったです。対策が功を奏して日常生活を取り戻すことができました。平時にも茎崎地区の様々な声に丁寧に耳を傾け、実現につなげていく力はとてもありがたいです。

4

茎崎庁舎跡地に食品コーナーが 充実したドラッグストアを誘致

長年の課題だった**茎崎庁舎の跡地活用**について、地域のみなさんのご要望を最大限聞いた形での事業者誘致に取り組みました。特にご希望の多かった食品コーナーを充実してもらいました。また、地域のみなさんが自由に使えるカフェコーナーもでき、**新たな居場所**が増えました。



地域の居場所になるカフェコーナー

5

スーパーシティ構想で 日々の課題を解決

つくば市は国の目玉事業であり、**日本で2ヶ所しか選ばれなかった「スーパーシティ型特区」**に、大阪とともに選ばれました。地域住民の困り事を解決するために、最先端の技術を使って新たな行政サービスを進めています。

応援メッセージ

宮澤 正さん(宝陽台)

日本全国のモデルとして選ばれた取組みにとても期待しています。宝陽台でも、高齢者のための自動運転や、ランドセルを乗せて長距離歩く負担を減らすなど、地域と対話をしながら数多くの取組みを進めてもらっていて、とても心強いです。



団地内の移動を自動運転でサポート

- 六斗の森のサニタリー棟新設や BBQ場改修、牛久沼でのカヌー体験
- 茎崎地区地域包括支援センターを設置しワンストップで相談対応